

普及現地情報  
令和8年2月25日  
久慈農業改良普及センター  
記述者 佐々木 達史

## 令和7年度ピーマン実績検討会を開催しました！

令和8年2月20日に久慈市内で令和7年度ピーマン実績検討会を開催しました。検討会には、ピーマンの生産者、市場、関係機関など合わせて24名が参加しました。

検討会では、JAから出荷・販売実績について、普及センターから戸別営農相談で収集した地域の課題と次年度の対策について説明を行いました。

また、グリーンな栽培体系技術として昨年度から導入している「バイオマス由来の原料を含む生分解性マルチ」と「点滴かん水技術」の検証結果について紹介を行いました。

久慈地域のピーマンは、栽培面積、栽培者数、単収いずれも順調に増加しており、今後が期待される品目です。

令和8年度も栽培者数が増加する見込みとなっており、今後も引き続き関係機関・団体と連携し、新規栽培者の技術定着や単収向上に向けた技術レベルの向上を図っていきます。



ピーマン実績検討会のようす